

配布資料一覧

- 1 次第
- 2 山形市におけるスケート施設あり方検討懇談会設置要綱
- 3 **資料1** 報告事項（1）山形市におけるスケート施設あり方検討懇談会について
- 4 **資料2** 報告事項（2）山形市総合スポーツセンタースケート場の利用状況
- 5 **資料3** 報告事項（3）現施設の現状と課題
- 6 **資料4** 報告事項（4）山形市スポーツ推進計画2028における方向性
- 7 **資料5** 報告事項（5）他施設の状況

memo

第1回 山形市におけるスケート施設あり方検討懇談会

日時：令和5年9月6日（水）午後3時～

場所：山形市役所 10階 委員会開催室

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 構成員紹介
- 4 座長の選出
- 5 公開の可否について
- 6 報告事項
 - (1) 山形市におけるスケート施設あり方検討懇談会について **資料1**
 - (2) 山形市総合スポーツセンタースケート場の利用状況 **資料2**
 - (3) 現施設の現状と課題 **資料3**
 - (4) 山形市スポーツ推進計画2028における方向性 **資料4**
 - (5) 他施設の状況 **資料5**
- 7 意見交換
 - (1) 山形市における屋外スケート場の必要性
 - (2) 大規模改修もしくは新規整備についての考え方
 - (3) 今後検討にあたっての課題・留意点
- 8 その他
- 7 閉 会

山形市におけるスケート施設のあり方検討懇談会構成員

(敬称略、五十音順)

No	所属	職名	氏名	備考
1	オリンピック		ウイリアムソン師円	
2	山形中央高等学校	スケート部顧問	小 野 俊	
3	山形市スケート協会	会長	片 山 健 一	
4	山形大学	教授	笹 瀬 雅 史	
5	山形市スポーツ協会	会長	逸 見 良 昭	
	山形県教育委員会	企画専門員	大 江 夕	オブザーバー
	(株)パティネレジャー		増 田 哲 士 金 子 智 洋 斎 藤 克 博	アドバイザー

事務局

所属	職名	氏名
企画調整部	部長	畑 口 和 久
企画調整部	文化スポーツ推進監	花 輪 信 二
企画調整部スポーツ課	次長兼課長	早 坂 正 伸
企画調整部スポーツ課	国スポ運営総括主幹(兼)課長補佐	遠 藤 一 人
企画調整部スポーツ課	課長補佐(施設管理担当)(兼)係長	齋 藤 孝 文
企画調整部スポーツ課	スポーツ施設整備推進室長	富 樫 竹 夫
企画調整部スポーツ課	スポーツ施設整備推進室主任	多 田 健 人
企画調整部スポーツ課	スポーツ施設整備推進室主任	佐 野 亜由美

山形市におけるスケート施設あり方検討懇談会設置要綱

(設置)

第1条 竣工から30年以上が経過し、老朽化が著しい山形市総合スポーツセンタースケート場の現状を踏まえ、当該施設のあり方及び今後の方向性についての研究、検討等を行うため、山形市におけるスケート施設あり方検討懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 懇談会は、次に掲げる事項について研究、検討等を行う。

- (1) 山形市総合スポーツセンタースケート場のあり方及び今後の方向性
- (2) 新規にスケート施設の整備を行う場合における整備内容及び適地
- (3) その他必要な事項

(構成)

第3条 懇談会の構成員は、別表に掲げるものをもって構成する。

(会議)

第4条 懇談会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて市長が招集する。

(座長)

第5条 会議を進行するために座長を置く。

- 2 座長は、構成員の互選により定める。

(意見聴取)

第6条 市長は、必要と認めるときは、構成員以外の者に対し、会議への出席を求め、その意見等を聴くことができる。

(庶務)

第7条 懇談会の庶務は、山形市企画調整部スポーツ課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和5年8月23日から施行する。

別表(第3条関係)

No.	区分	所属等	職名	備考
1	競技者・指導者	オリンピック		
2	指導者・利用者	山形中央高等学校	スケート部顧問	
3	競技団体	山形市スケート協会	会長	
4	学識経験者(生涯スポーツ分野)	山形大学	教授	
5	スポーツ団体統括機関	山形市スポーツ協会	会長	
6	関係行政機関	山形県		オブザーバー
7	スケートリンク関連事業者	株式会社パティネレジャー		アドバイザー

山形市におけるスケート施設あり方検討懇談会について

1 山形市におけるスケート施設のあり方検討の背景

山形市は健康医療先進都市の実現に向け、日常的に利用できる身近なスポーツ施設の整備を推進し、積極的な学校開放も行ってきましたが、健康の維持・増進のためのスポーツ活動に対する市民ニーズが高まっていることや、新たな種目の増加などにより、施設や設備に求められる機能は年々多様化、高度化しており、これらに対応する環境の整備が求められています。

スポーツ推進計画の成果指標である「スポーツ実施率」は横ばい、「国際・全国・東北大会等開催数」は減少しており、気軽に使える施設の整備や全国大会等が開催できる施設整備等が必要となっています。

主要なスポーツ施設は経年劣化による老朽化が進んでいますが、本市は、同人口規模の都市と比較しても過剰にスポーツ施設を有しているわけではなく、施設を廃止する場合は、同等の代替機能確保の検討が必要となっています。

本市のスケートにおける環境の現状としては、フィギュアスケートやアイスホッケー競技の公式大会を開催できる施設はなく、スピードスケート競技については山形市総合スポーツセンタースケート場は全国的なスピードスケートに係る競技会を開催する基準を満たしているものの、冬期間のみの利用であり、また、平成4年度開催の「べにばな国体」のスピードスケート競技会場として平成元年度に仮設で整備したもので老朽化が進むとともに、冷媒に使用しているフロンは生産が終了し、早ければ7年程度で入手できなくなるため、山形市におけるスケート施設の今後の方向性について本懇談会において御議論をお願いしたい。

2 本懇談会で具体的にご検討いただきたいこと

本懇談会では、主に下記の事項について、皆様のそれぞれの立場から御意見をいただきたい。 ※ 最終的には検討結果を報告書として取りまとめる予定

- ・山形市における屋外スケート場の必要性
- ・大規模改修もしくは新規整備についての考え方
- ・今後検討にあたっての課題・留意点 など

3 今後の検討会議の進め方（スケジュール予定）

【検討スケジュール予定】

第1回検討懇談会（9月6日）

- ・山形市における屋外スケート場の必要性
- ・大規模改修もしくは新規整備についての考え方
- ・今後検討にあたっての課題・留意点 など

第2回検討懇談会（10月31日予定）

- ・報告書（たたき台）の検討

第3回検討懇談会（12月26日予定）

- ・報告書の取りまとめ

memo

山形市総合スポーツセンタースケート場の利用状況

1 竣工日 平成元年 11 月 15 日

2 整備費 908,105 千円

3 これまで開催された主な全国大会

全日本実業団スピードスケート競技会（平成 3 年 1 月）

第 47 回国民体育大会冬季大会スケート競技（平成 4 年 1 月 26 日～29 日）

第 13 回全国中学校スケート大会（平成 5 年 2 月）

全日本ジュニアスピードスケート選手権大会（平成 17 年 2 月）

平成 26 年度全国高等学校総合体育大会第 64 回全国高等学校スケート競技選手権大会

第 19 回全日本マスターズスピードスケート競技会（平成 31 年 1 月）

第 24 回全日本マスターズスピードスケート競技会（令和 6 年 1 月予定）

4 年間利用者数

年度	利用者数	年度	利用者数	年度	利用者数	年度	利用者数
H1	19,008 人	H10	26,919 人	H19	28,827 人	H28	32,620 人
H2	17,895 人	H11	27,179 人	H20	27,052 人	H29	35,746 人
H3	24,460 人	H12	21,284 人	H21	26,962 人	H30	36,848 人
H4	30,611 人	H13	24,178 人	H22	27,070 人	R1	28,192 人
H5	34,180 人	H14	23,885 人	H23	29,476 人	R2	18,273 人
H6	26,612 人	H15	23,812 人	H24	31,199 人	R3	16,114 人
H7	31,963 人	H16	23,823 人	H25	32,521 人	R4	23,537 人
H8	27,862 人	H17	29,204 人	H26	33,460 人	計	930,562 人
H9	27,926 人	H18	27,538 人	H27	34,326 人		

5 令和 4 年度アンケート結果（2021-2022 シーズン）

(1) 回収率

入場者数	23,537 人
アンケート回収数	3,299 票
アンケート回収率	14.01%

(2) 年代分布

区分	人数	割合
小学生以下	356 人	10.79%
中学生	283 人	8.58%
高校生	874 人	26.49%
大学生	349 人	10.58%
大学院生	1 人	0.03%
専門学生	78 人	2.36%
一般	1,149 人	34.83%
無回答	209 人	6.34%
計	3,299 人	100.00%

(3) 利用回数

区分	人数	割合
初めて	2,572 票	77.96%
2 回	442 票	13.40%
3 回以上	233 票	7.06%
無回答	52 票	1.58%
計	3,299 人	100.00%

(4) 利用目的

区分	実数	割合
レクリエーション	1,577 人	47.80%
練習	189 人	5.73%
大会	7 人	0.21%
その他	475 人	14.40%
無回答	1,051 人	31.86%
計	3,299 人	100.00%

(5) 居住地別

区分	実数	割合
山形市	1,442 人	43.71%
山形市以外（県内）	1,007 人	30.52%
山形県外	136 人	4.12%
無回答	714 人	21.64%
計	3,299 人	100.00%

内 山形市以外（県内）

区分	実数	割合
村山地域（山形市除く）	839 人	83.32%
置賜地域	134 人	13.31%
最上地域	23 人	2.28%
庄内地域	9 人	0.89%
その他	2 人	0.20%
計	1,007 人	100.00%

内 山形県外 10人以上

区分	実数	割合
宮城県	68 人	50.00%
東京都	21 人	15.44%
神奈川県	13 人	9.56%
3 県計	102 人	75.00%

※その他都府県計 34 人 (25%)

6 専用利用状況

令和 4 年度 大会 300 人
練習 1,010 人 計 1,310 人/23,537 人

7 山形県のスケート競技人口の推移

本県のスケート競技人口の推移①（県スポーツ保健課調べ）

【スケート連盟 スピード選手登録者数】

単位：人

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
小学	11	5	8	6	7	4
中学	6	11	8	6	3	4
高校	14	16	15	12	10	9
大学・一般	4	4	1	0	1	1
計	35	36	32	24	21	18

【スケート連盟 フィギュア選手登録者数】

単位：人

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
小学	6	6	5	3	0	3
中学	10	7	3	4	3	2
高校	3	1	2	3	3	3
大学・一般	0	0	0	0	1	2
計	19	14	10	10	7	10

本県のスケート競技人口の推移②（県スポーツ保健課調べ）

【アイスホッケー連盟 選手登録者数】

単位：人

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
小学	16	12	13	8	12	10
中学	17	8	7	5	8	6
高校	10	10	6	0	6	6
大学・一般	57	31	59	42	50	22
計	100	61	85	55	76	44

【アイスホッケー連盟 登録チーム】

	チーム数	備 考
小学	2	山形、庄内
中学	2	山形、庄内
高校	1	山形アイスホッケークラブ
大学	1	山形大学
一般	3	山形3チーム

(山形県 HP 屋内スケート施設あり方検討会議資料より)

memo

現施設の現状と課題

【現状】

1 竣工日 平成元（1989）年11月15日 令和5（2023）年11月15日で34年経過

2 建設費 908,105千円（工期：H元年3月～11月（9ヶ月））

施設設備等	屋外リンク	1周400m
	冷凍機	遠心冷凍機2基 冷凍能力：907,200kcal/h（ブライン仕様）
	リンク面冷却方式	樹脂マット方式（脱着可能）
	管理棟床面積	955.098㎡（S造平屋建）
	リンク面照度	300LX
付帯施設	男女更衣室（各1室）／男女トイレ（各1ヵ所）／放送室（拡声装置）／会議室／貸靴室／事務室／氷上員室／機械室	

3 整備・修繕履歴

和暦	西暦	山形市総合スポーツセンタースケート場		
		経過年数	内容	金額(千円)
H1	1989年度		スケート場完成	908,105
H2	1990年度	1年	スケート場フラッグポール設置	3,708
H3	1991年度	2年	スケート場リンク整備	16,171
H6	1994年度	5年	スケート場リンク整備	22,660
H13	2001年度	12年	スケート場リンク改修	26,775
			スケート場リンク配管改修	39,690
H21	2009年度	20年	スケート場リンク防水	868
			スケート場冷却ファン軸受改修	683
H22	2010年度	21年	スケート場水槽清掃整備修繕	764
H24	2012年度	23年	リンク床下地漏水対策	798
			冷凍機ブライン漏れ修繕	822
			スケート場外周柵等改修工事	20,370
H25	2013年度	24年	リンク床下地改修	998
H26	2014年度	25年	リンク内配管保場修繕	584
			排水槽サブトレンチ内清掃修繕	941
			競技時計計測システム修繕	3,024
H29	2017年度	28年	倉庫解体	6,522
			スケート場冷却水ポンプ整備	594
H30	2018年度	29年	スケート場冷却水ポンプ整備	1,242
			スケート場冷却塔プーリー交換	832
R1	2019年度	30年	スケート場冷却塔プーリー交換	2,494
			冷却水フート弁・冷却塔プーリー更新	7,150
R2	2020年度	31年	スケート場冷凍機修繕前処理	748
			スケート場冷凍機修繕	4,242
			ブラインポンプ・ブライン補給回収ポンプ更新	21,098
R3	2021年度	32年	スケート場パイプカバー修繕	589
			スケート場巾木交換	858
R4	2022年度	33年	燃料油ポンプ・散水ポンプ・温水循環ポンプ更新	9,753
累計費用				1,103,083

152,439
↑建設費を除く

4 ランニングコスト

令和元年度～令和4年度 山形市総合スポーツセンタースケート場維持管理費（実績報告）

（単位：円）

1. 収入の部	R1	R2	R3	R4
科 目	収入決算額	収入決算額	収入決算額	収入決算額
1 利用料金収入	6,993,300	5,056,800	4,644,550	6,603,600
2 自動販売機等手数料収入	2,087,550	1,279,710	1,210,230	1,825,650
合 計	9,080,850	6,336,510	5,854,780	8,429,250

2. 支出の部（単位：円）

科 目	収入決算額	収入決算額	支出決算額	支出決算額
1 通信運搬費	82,470	73,746	82,653	81,000
2 消耗品費	1,299,402	1,995,848	1,847,217	306,742
冷却設備関係	1,009,800	1,504,800	1,320,000	0
整備消耗品	289,602	491,048	527,217	306,742
3 修繕費	2,493,344	4,989,600	2,842,100	5,796,956
設備電気関係	594,000	3,652,000	918,500	4,473,986
整備器具関係	1,899,344	1,337,600	1,923,600	1,322,970
4 保険料	55,000	55,000	55,000	55,000
5 委託料	33,762,960	33,762,960	33,762,960	33,762,960
管理運営業務委託	29,844,360	29,844,360	29,844,360	29,844,360
機械設備保守点検	3,458,400	3,458,400	3,458,400	3,458,400
清掃委託	460,200	460,200	460,200	460,200
6 光熱水費	32,070,585	33,006,756	27,587,252	41,116,231
電気料金	28,074,876	29,735,376	23,582,362	37,142,447
水道料金	2,317,186	1,733,981	2,283,708	2,152,640
プロパンガス料金	219,871	58,732	50,279	0
灯油料金	939,620	927,564	1,119,800	1,254,731
ガソリン料金	519,032	551,103	551,103	566,413
合 計	69,763,761	73,883,910	66,177,182	81,118,889

出典：指定管理者（山形市スポーツ協会）

5 利用料金

【個人利用料金】

使用者区分	滑 走 料	回数券 (11回分)	貸 靴 料
一 般	500円	5,000円	一律 300円
高 校 生	300円	3,000円	
中学生以下	200円	2,000円	

【専用利用料金】

使用時間区分		①9 時～12 時②12 時～15 時 ③15 時～18 時④18 時～21 時	21 時～翌日 9 時まで	
アマチュアスポーツ に使用する場合	入場料を徴収 しない場合	一使用時間区分 につき	12,000 円	4,000 円(1h)
	入場料を徴収 する場合	一使用時間区分 につき	36,000 円	12,000 円(1h)
アマチュアスポーツ以外に使用する場 合		一使用時間区分 につき	72,000 円	24,000 円(1h)
フィールドのみを使用する場合		一使用時間区分 につき	1,000 円	1,000 円(1h)

【課題】

1 施設の老朽化

(1) 仮設物

山形市総合スポーツセンタースケート場は平成4年度の「べにばな国体」スピードスケート競技会場として平成元年に仮設で建設され、以後34年間リンクや設備の修繕を行いながら使用している。

(2) 臨時休業

令和元年度 ブライン管の破損により22日間(11月23日～12月14日)臨時休場老朽化により今後も同様の事態が懸念される。

(3) フロン11の生産終了

現施設の冷媒はフロン11を使用しているが生産終了しているため、流通・在庫状況から早ければ今後7年程度で供給停止となる見込み(三菱重工冷熱株)である。

(4) 今後想定される修繕内容

現施設を使用していく場合はフロンを使用しない自然冷媒(アンモニアや二酸化炭素などの環境にやさしい物質を使用した冷媒)冷凍機への切り替えが必要となる。

(参考) 令和3年度 郡山市磐梯熱海スポーツパークスケートで冷媒機更新 803,000 千円

2 冬期間のみの開放

現施設は11月～2月の開放期間となっており、それ以外の期間は遊休施設となっている。

3 安全マットの収納スペース

管理棟に全ての安全マットを収納することができないため、一部屋外で保管している。全体の半分の安全マットを更新したが、劣化を防ぐため屋内収納が望まれる。

山形市スポーツ推進計画 2028 における方向性

第3章 今後5年間に取り組む具体的施策

基本方針3 市民のスポーツ活動を支える環境整備

基本施策 3-1 スポーツ施設の充実

主要なスポーツ施設は老朽化に対応する長寿命化・機能維持を行うとともに、成果指標である「スポーツ実施率」は横ばい、「国際・全国・東北大会等開催数」は減少しており、気軽に使える施設の整備や全国大会等が開催できる施設整備等が必要となっています。

なお、広域利用に資する施設については、山形県体育館・山形県武道館の代替施設や新規施設の整備、既存施設の機能強化が必要になっており、山形県等の関係機関と協議を行い整備に向けた方向性やそれぞれの役割分担を明確にする必要があります。

また、山形県は屋内スケート施設あり方検討会議を設置していることから、県の検討状況を注視しながら、山形市独自でも懇談会を開催して、外部有識者の意見を聞きながら、市として総合スポーツセンタースケート場の今後の方向性を調査・研究・検討します。

なお、スポーツ施設の整備充実のためには、多額の資金が必要となるため、費用対効果の最大化、民間活力の活用、国や関係団体からの財源の確保などに努めます。

(2) スポーツ施設の維持管理・長寿命化

新たな種目の増加やデジタル技術の普及などにより、施設や設備に求められる機能は年々多様化、高度化しており、これらに対応する環境の整備が求められるとともに、主要なスポーツ施設は経年劣化による老朽化が進んでいます。

また、本市は、同人口規模の都市と比較しても過剰にスポーツ施設を有しているわけではなく、施設を廃止する場合は、同等の代替機能確保の検討が必要となっています。

【主な取組】

① 屋外スケート場整備についてのあり方検討 【新】

山形市総合スポーツセンタースケート場は、県内唯一の400mリンクとして公認大会が開催されている競技スポーツ施設です。施設の老朽化が著しいことを踏まえ、山形市独自で懇談会を開催して、外部有識者の意見を聞きながら、市としての今後の方向性の調査・研究・検討を行います。

なお、検討にあたっては、山形市民に留まらない広域利用がある身近なスポーツ施設としての役割も担っていることから、広域利用に資する施設として整備の促進に向けて山形県等の関係機関と協議を行います。

(3) 広域利用施設の整備促進

県内唯一または近隣市町村住民の広域利用が相当見込まれる施設は、整備等の役割分担や費用負担のあり方などについて山形県と協議を行います。

また、人口の集積や交通アクセスなどでの県庁所在地の優位性を生かし、交流人口拡大に向けた施設の整備や充実、県全体の競技力向上に繋がる施設として県内唯一となる施設や、広域利用に資する施設整備の促進に向けた方向性や役割分担について山形県等の関係機関と協議を行います。

② スケート場整備についての検討 【新】

山形県は屋内スケート施設のあり方について検討していることから、その検討状況を注視していきます。

加えて、山形市総合スポーツセンタースケート場のあり方にあたっては、山形市民に留まらない広域利用がある身近なスポーツ施設としての役割も担っていることから、山形県等の関係機関と協議を行います。

memo

他施設の状況

東北のスケート場状況 (公財)日本スケート連盟ホームページより 2021年8月現在

① スケート場の数

県名	山形県	青森県	岩手県	秋田県	宮城県	福島県
計	3	7	7	2	2	3

② 種別

	山形県	青森県	岩手県	秋田県	宮城県	福島県
トラック	1	1	1	1	0	1
アリーナ	2	6	6	1	2	2

③ 屋内・屋外の別

	山形県	青森県	岩手県	秋田県	宮城県	福島県
屋内	1	6	6	2	2	1
屋外	2	1	1	0	0	2

④ 公営・民営の別

	山形県	青森県	岩手県	秋田県	宮城県	福島県
公営	3	6	6	2	0	3
民営	0	1	1	0	2	0

⑤ スケート場詳細

※ [] は民営

	施設の名称	規模	観客席数	営業団体	開設年月日	開業期間
青森県	YSアリーナ八戸 (八戸市)	屋内400m トラック	3,045	八戸市	R01.08.24	リンク 7月～3月
	八戸市長根公園バイピングスケートリンク (八戸市)	屋外 60m×28m	300	エスプロモ (株)	S45.11.19	11月～2月
	テクノアイスパーク八戸 (八戸市)	屋内 60m×30m	2,046	エスプロモ (株)	S59.05.21	9月～4月
	FLAT HACHINOHE (八戸市)	屋内 60m×30m	3,500	クロススポー ツマーケティ ング(株)	R02.04.01	通年
	青森県営スケート場 (青森市)	屋内 250mトラック 60m×30m	2,028	青森県営スケ ート場管理者 盛運輸(株)	S60.11.23	10月～3月
	三沢アイスアリーナ (三沢市)	屋内 60m×30m	1,548	三沢市	H06.10.01	8月～4月
	ふくちアイスアリーナ (南部町)	屋内 60m×30m	—	(一財)南部町 健康増進公社	H05.11.01	11月～4月
岩手県	岩手県営スケート場 (盛岡市)	屋外400m トラック	1,600	(公財)岩手県 スポーツ振興 事業団	S47.11.15	11月～3月
	岩手県立県北青少年の家 スケート場(二戸市)	屋内 60m×30m	300	(公財)岩手県 スポーツ振興 事業団	S59.11.01	11月～3月
	みどりの郷アイスアリーナ (金ケ崎町)	屋内 60m×30m	300	ホテルみどりの郷	S59.11.01	10月～4月
	山田町立屋内アイススケート場 (下閉伊郡山田町)	屋内 32.5m×22.9m	—	山田町	H03. .	11月～3月
	盛岡市アイスリンク (盛岡市)	屋内 60m×30m	96	(公財)盛岡市 スポーツ協会	H27.9.19	通年
	千厩アイスアリーナ (一関市)	屋内 40m×30m	—	(一社)一関市 体育協会	H06.10.	12月～3月
	石鳥谷アイスアリーナ (花巻市)	屋内 60m×30m	300	(一社)花巻市 体育協会	H07.03.05	11月～3月
宮城県	アイスリンク仙台 (仙台市)	屋内 56m×26m	—	(株)加藤商会	H19.03.22	通年
	ウェルサンピアみやぎ泉 (黒川郡大和町)	屋内 60m×30m	—	厚生年金事業 団	不明	11月～3月
秋田県	秋田県立スケート場 (秋田市)	屋内333×13m トラック	—	(一財)秋田県 総合公社	S46.11.10	10月～3月
	秋田県立スケート場 (秋田市)	屋内 60m×30m	—	(財)秋田県総 合公社	S46.11.10	10月～3月
山形県	山形市総合スポーツセンター スケート場	屋外400m トラック	—	(公財)山形市 スポーツ協会	H01.12.01	11月～2月
	小真木原スケート場 (鶴岡市)	屋外 60m×30m	—	鶴岡市	H04.12.19	12月～2月
	スワンスケートリンク (酒田市体育館)	屋内 37.4m×27m	644	酒田市	H06.12.15	11月～3月
福島県	石川スケート場 (石川郡石川町)	屋外 60m×30m	—	(一財)母畑レイク サイドセンター運 営協会	S57.12.	12月～2月
	磐梯熱海スポーツパーク 郡山スケート場(郡山市)	屋外400m トラック	1,115	ゼビオコーポ レート(株)	H03.12.	12月～3月
	磐梯熱海アイスアリーナ (郡山市)	屋内 60m×30m	216	ゼビオコーポ レート(株)	H06.11.	9月～5月
新潟県	リージョンプラザ上越 アイスアリーナ(上越市)	屋内 60m×30m	228	新東産業(株)	S60.9.29	9月～5月
	新潟県立柏崎アクアパーク (柏崎市)	屋内 60m×30m	300	(公財)かしわ ぎき振興財団	H5.11	11月～2月末
	MGC三菱ガス化学アイスアリーナ (新潟市)	屋内 60m×30m	1,000	新潟パティネ レジャー	H26.2.1	通年

※日本スケート連盟HPに掲載されている東北ブロック+新潟県のスケートリンク

JFS 日本スケート連盟HPより抽出

■屋外400mスケートリンク

地域	名称	観客席	開設年月日	開業期間	建設費
中部	軽井沢風越公園スケートリンク	162	H22.12.11	11月下旬～2月下旬	8億8,305万円
中部	岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場	2,000	H17.11	11月～2月	
北海道	中標津町運動公園スピードスケート場	-	H15.12.1	12月～2月	
北海道	根室総合運動公園スケートリンク	-	H8.1.6	12月～2月	
中部	松原湖高原スケートセンター	-	H6.12.3	11月～2月	
中部	岡谷市やまびこ国際スケートセンター	917	H6.11.23	11月下旬～2月中旬	
関東	日光霧降スケートセンター(屋外スピードリンク)	750	H3.12.31	11月～3月	
東北	磐梯熱海スポーツパーク郡山スケート場	1,115	H3.12.	12月1日～3月10日	14億9,883万円 8億300万円
東北	山形市総合スポーツセンタースケート場	-	H1.12.1	11月23日～2月末	9億811万円
中部	茅野市運動公園国際スケートセンター (NAO ice OVAL)	800	H1.12.1	11月下旬～2月下旬	
関東	北杜市八ヶ岳スケートセンター	-	S61.12.7	11月下旬～2月末	
関東	富士急ハイランドコニファーフォレストセイコーパーバル	1,200	S60.11.1	12月～3月	
北海道	千歳市青空公園スケート場	-	S60.11.	1月～2月中旬	
北海道	網走市営スケートリンク	-	S52.12.20	1月～2月末日	
東北	岩手県営スケート場	1,600	S47.11.15	11月～3月中旬	
北海道	釧路市柳町スピードスケート場	883	S46.12.11	11月～3月	
北海道	真駒内セキスイハイムスタジアム	17,324	S.45.12.01	12月～2月中旬	13億6,000万円
北海道	苫小牧市ハイランドスポーツセンター屋外リンク	700	S42.12.10	11月～3月	
関東	群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク	400	S42.1.1	11月～2月末	
近畿	400mリンクなし				
中国	400mリンクなし				
四国	400mリンクなし				
九州	400mリンクなし				

■屋内400mスケートリンク

地域	名称	観客席	開設年月日	開業期間	建設費
東北	YSアリーナ八戸(長根屋内スケート場)	3,045	R1.8.24	7月下旬～3月上旬	126億円
北海道	明治北海道十勝オーバル	3,000	H21.9.1	7月～3月	55億8,390万円
中部	長野市オリンピック記念アリーナ(エムウェーブ)	6,400	H8.11.	10月～3月	348億円

地域	400mリンク		400m以外	計
	屋内	屋外		
北海道	1	7	19	27
東北	1	3	19	23
関東	0	4	24	28
中部	1	5	17	23
近畿	0	0	14	14
中国	0	0	7	7
四国	0	0	2	2
九州	0	0	6	6
	3	19	108	130

H3.11建設費

R3冷凍機更新

【建設費比較】		屋内400mトラック			屋外400mトラック		
	YSアリーナ八戸 (長根屋内スケート場)	明治北海道十勝 オーバル	長野市オリンピック記念アリーナ (エムウェーブ)	磐梯熱海スポーツセンター ク郡山スケート場	真駒内セキスイハイム スタジアム	軽井沢風越公園スケートリンク	山形市総合スポーツセンター スケート場
開設年	R1.8	H21.9	H8.11	H3.12	S.45.12	H22.12.11	H1.12
敷地面積	62,274㎡	104,900㎡	111,500㎡	39,000㎡	約46,000㎡	HP記載なし	約22,200㎡
延床面積	26,274㎡	19,218.38㎡	76,100㎡	管理棟1,454.49㎡ 機械室480.00㎡ 倉庫240.00㎡	1階5,119.83㎡ 2階2,072.84㎡ その他343.00㎡	記録室棟193.06㎡	管理棟955.09㎡
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋造・一部鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋造	鉄筋造
階数	3階	2階	3階	3階	2階	平屋	平屋
リンク	屋内400mトラック	屋内400mトラック	屋内400mトラック 屋内60m×30m	屋外トラック400m	屋外トラック400m	屋外トラック400m	屋外トラック400m
リンク開設期間	7月下旬～3月中旬	7月第4日曜～3月第1日曜	10月～3月	12月1日～2月末日	12月～2月中旬	11月下旬～2月下旬	11月23日～2月末
	中地 人工芝コート、多目的コート ランニングコース 2レーン	中地多目的広場：通年 ランニング走路：通年	夏場エンターテインメント会場としての利用	スケート場(夏期)4月1日～10月31日	<夏期>テニスコート(最大8面)、フットサルコート(最大4面)、テニスマシン専用コート(2面)	夏期 ローラースケート フットサル2面	冬期間のみ営業
観客席	3,045	3,000	6,400	1,115	17,324	162	-
駐車場	600台	318台	800台	約300台	150台	不明	230台/2150台
整備費	126億円	55億8,390万円	348億円	14億9,883万円	13億6,000万円	8億8,305万円	9億811万円

R2冷凍機更新8億300万円

(出典：各施設HP等より)